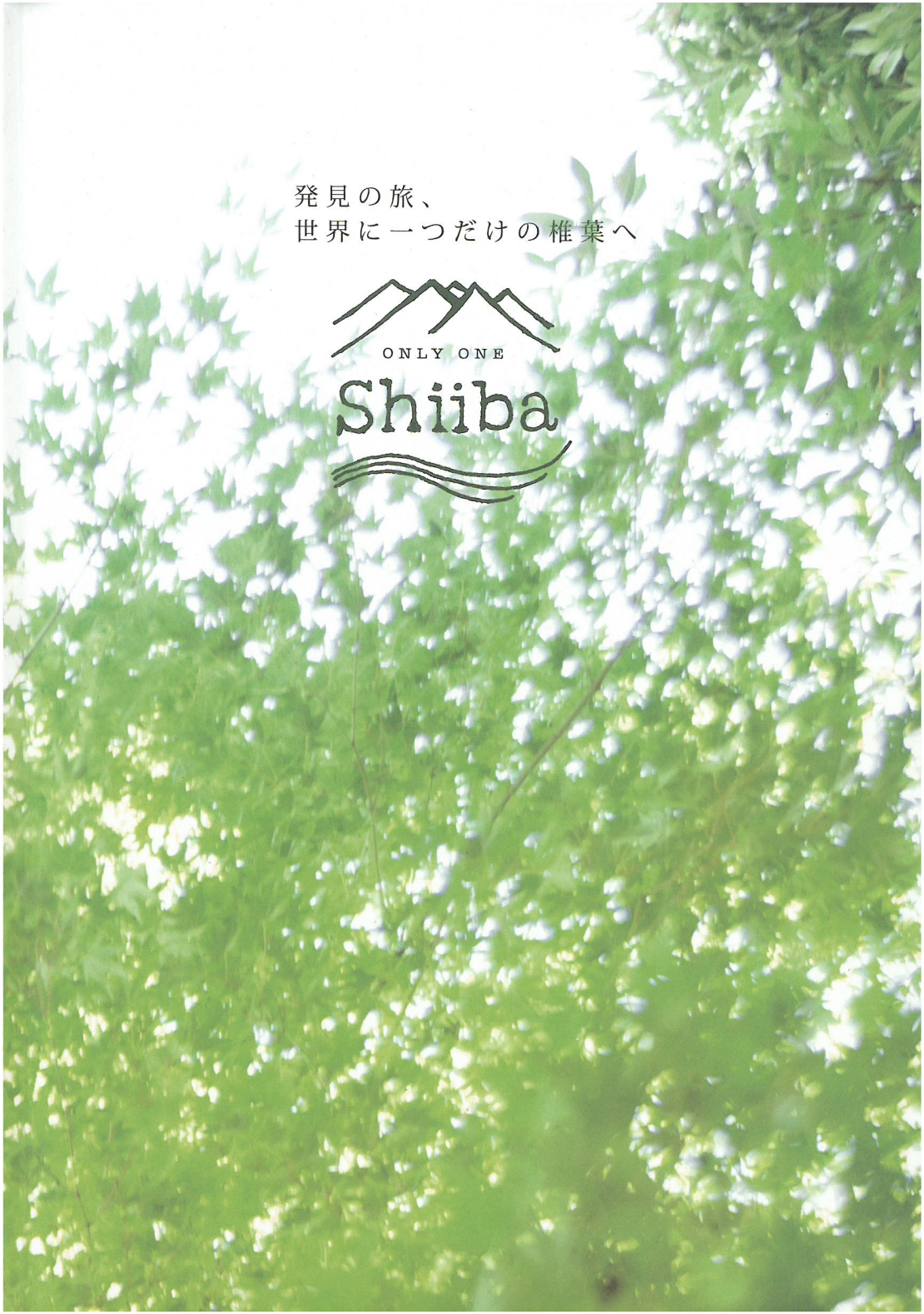
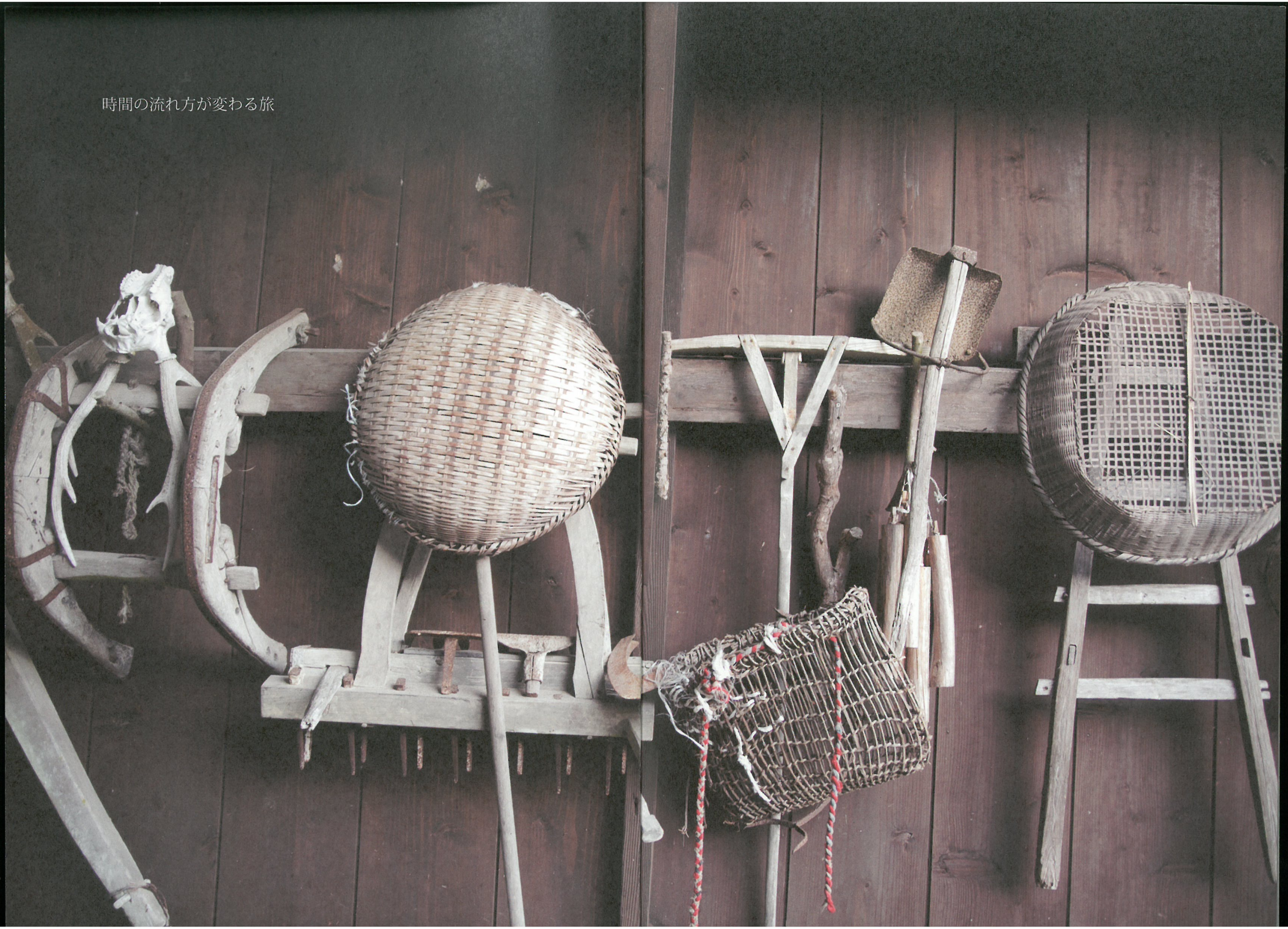

発見の旅、
世界に一つだけの椎葉へ
ONLY ONE
Shiiba


時間の流れ方が変わる旅


地球に癒される旅



忘れられない出会いになる旅


命につながる『食』を知る旅



椎葉には不思議な力がある
それはあなたを今より少し素直にさせる
今より少し自然体に近づける
少しおおらかな気分になったあなた自身を見つける旅
ようこそ、世界に一つだけの椎葉へ

m e m o

発見の旅、
世界に一つだけの椎葉へ

ONLY ONE
Shiiba

このパンフレットを手にしたら、このページに日付とご自分の名前を書いておくといいかもしれませんね。いつか椎葉の旅から帰った時、今のあなたを少し懐かしく思い出せるように。

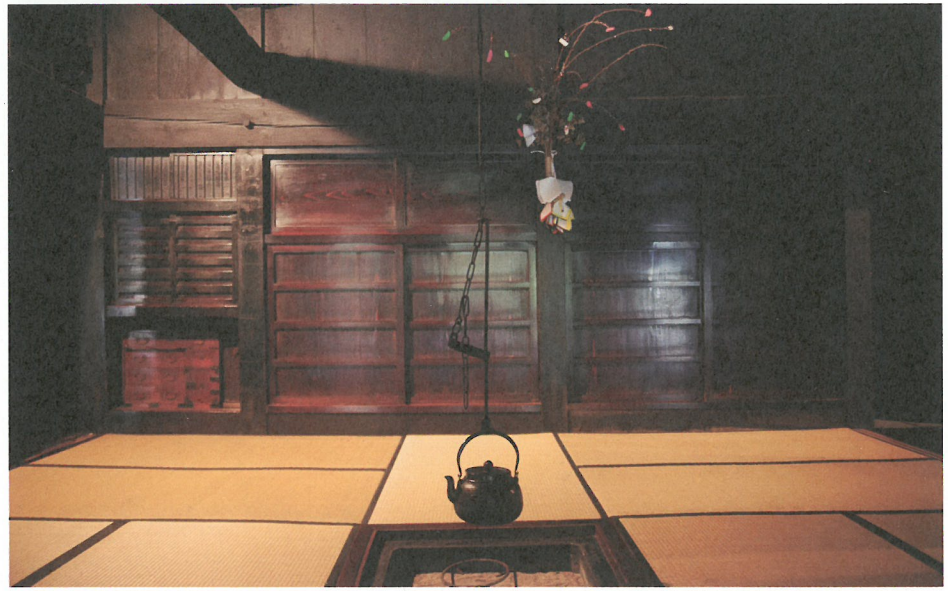
時間の流れ方が変わる旅



鶴富屋敷

800年以上前の平家の落人、鶴富姫と源氏の将、那須大八郎の恋物語の舞台。現在の建物は300年程前に建てられたと推測されていて、屋敷の中に入って見学もできます。
（入館料大人200円、小人100円）

廊下に座って飴色の板戸や太い柱や梁に抱かれると、誰もが懐かしい落ち着きを感じるはず。






椎葉厳島神社



日本民俗学発祥の地

柳田國男が椎葉村を訪れたのは明治41年7月13日から一週間。当時の中瀬淳村長の屋敷に滞在しており、その屋敷は現在もそっくりそのまま残っています。（地図E-6）椎葉村内の各地を見聞し民俗学資料を収集した柳田國男はのちの日本民俗学の発展への大きな示唆を得ました。中瀬村長は後日、大河内に所蔵していた「狩の儀式」を記した巻物を復元し柳田國男に送り、これが「後狩詞記」として世に出るきっかけとなりました。

椎葉民俗芸能博物館





【入館料】
小中学生150円
高校生200円
大人300円
AM 9 時～PM 5 時
年末年始休館日

団体割引・鶴富屋敷と共通割引もあります。



大久保のヒノキ



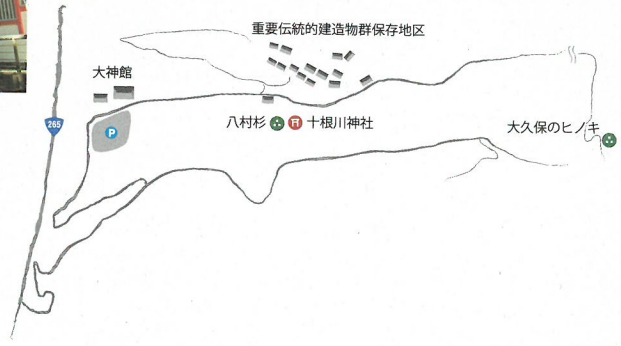
十根川の重要伝統的建造物群保存地区には「椎葉型」といわれる独特の建築様式の民家と、それに隣接する馬屋、倉、石垣が程よく調和し、歴史的景観を保持しています。家々の間を縫う路地を歩けば、積み上げられた石と時間の重さを感じる事ができます。しばらく石の階段に座って山を渡ってくる風に吹かれてみれば、日常とは明らかに違う時間の流れ方を体感できるでしょう。



↑十根川神社の八村（やむら）杉
推定樹齢800年
（地図F-5）幹周り19m、樹高54.4m



←大久保のヒノキ（地図G-5）
推定樹齢800年
日本一の大ヒノキ
幹周り9.3m、樹高32m





本当の「のんびり」を体験してみる。

車を走らせて椎葉に入ると、道路に迫って切り立った山と、深い谷の景観に驚かされるでしょう。そして、斜面を利用して建つ家々の景観にも思わず目を奪われるはずです。畑やダムやカーブミラー、庭先の草花や牛や鶏、そんな村の人たちの生活が垣間見える景色を楽しみながら歩いてみるのもいいでしょう。山里ののんびりした時間の流れに身をゆだねてみる、それも椎葉の楽しみ方です。





椎葉には1年に4回来てください。

春

庭先の梅、いたるところに山桜、つつじ、シャクナゲ、菜の花、レンゲ。山々が一斉に新緑に燃え始める頃、命あふれる季節に来てください。



夏

村中が深い緑に包まれる頃、山では焼畑の煙が上がり、川には釣り人、水遊びの子どもたち。朝晩はひんやり涼しく爽やかな、避暑地椎葉に来てください。



秋

棚田の稲穂、畑の蕎麦、とうきび、小豆に椎茸、柿、栗・・・紅葉に染まる山では木の実を食べて猪が肥える。実りと祭りの季節、秋の椎葉に来てください。



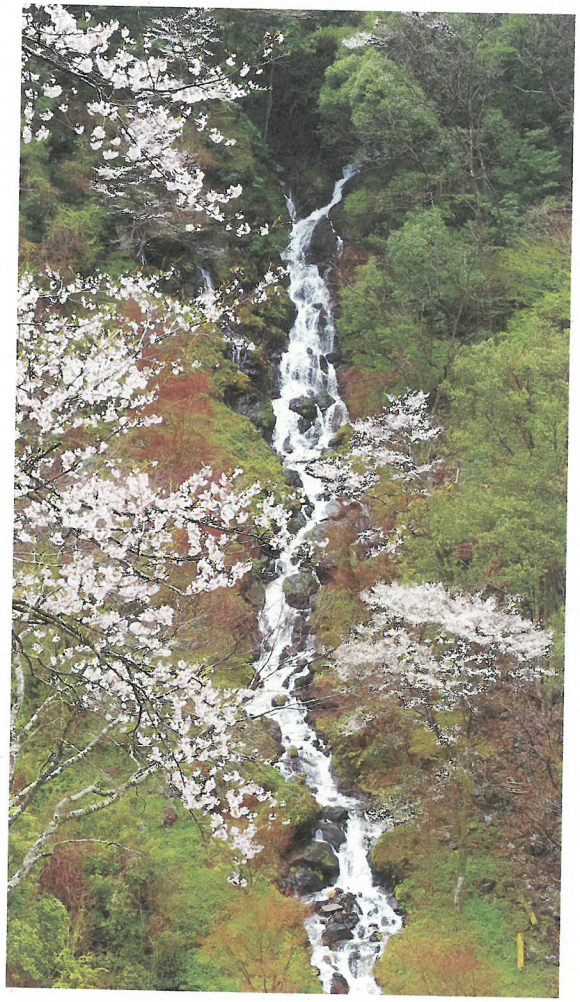
冬

しんしんと冷える夜、煮しめと焼酎で体を温めながら神楽太鼓のリズムに身をゆだねる。山はひっそりと静まりかえる、清らかな椎葉の冬に来てください。

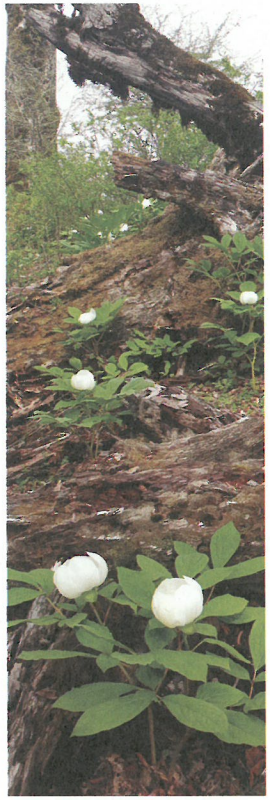


地球に癒される旅

数百年を生きる八村杉の梢よりはるか高く天の川が輝く。
椎葉の星空は、ここが宇宙にむき出しであることを感じさせてくれます。



白水（しらみず）の滝（地図C-5）
壇ノ浦の戦いに敗れた平家の残党が、この滝の上流の水で米をとぎ昼食を準備しました。そのとぎ汁が滝に流れて真っ白に見えたことから、この名で呼ばれるようになったと伝えられています。
水の豊かな椎葉には美しい滝がたくさんあります。



ヤマシャクヤク



キレンゲショウマ



シャクナゲ

椎葉の山間部は1,600メートル級の山々が連なる九州中央山地に属し、高山植物や希少植物が多く群生しています。珍しい植物や美しい花々との出会いは登山やトレッキングの楽しみの一つです。



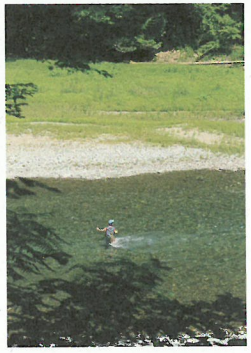
仙人の棚田を見渡せる『大いちょう展望台』(地図G-5)

仙人の棚田、それは普通の人が作った絶景

椎葉のマチュピチュとも呼ばれる棚田の景色、それは仙人が不思議な力を使って作ったわけではありません。下松尾地区の人たちが地道に積み重ねてきた努力の景色。たくましく生きる私たち人間と母なる地球の壮大なドラマを眼下に見下ろすことができます。







↑:松尾の大イチョウ(地図G-5)
←←:仲塔(なかとう)渓谷の紅葉(地図F-4)
←:耳川の清流と釣り人

右ページ→
桑の木原峠から見る雲海(地図F-7)
その他の雲海を見ることができるポイント
峰越峠(地図C-5)
扇山(地図E-5)
佐礼(ざれい)(地図F-5)
尾田山中(地図F-6)
飯干峠(地図E-7)





忘れられない出会いになる旅

椎葉を旅して、あなたの心に最も深く残るのは、おそらく村人とのふれ合いでしょう。私達が一番大切にしているのは、心を込めて旅人をもてなすことです。大きな施設や、にぎやかさはありませんが、ここには村人が大事にしてきた知恵があります。山暮らしの楽しみを旅人におすそ分けすること。「村人みんながガイドになれる」そんな日を夢見て私達は様々な椎葉体験プログラムを実施しています。



『トム・ソーヤーの森』ツリーハウス体験（ちょっとヒヤヒヤする高さです。）



尾前一日出さんは、仲間達と尾前地区の森や川を舞台に、椎葉ならではの様々な遊びが体験できるエリアを作っています。ここはまさに大人も子どもになれるトム・ソーヤーの森です。(地図D-5)

忘れられない出会いになる旅

様々な体験ツアーが企画されています。問合せ：(一社) 椎葉村観光協会　TEL：0982-67-3139









森 アウトドア 山菜 川 トレッキング 絶景 体験
ダムクルージング メープルシロップ ヘルスツーリズム
きのこ はちみつ 伝統食 手作り 洞窟探検
歴史 古民家 ハーブ 自然 農業 焼畑 そば















平家まつりに来ないと、
とっても、とっても、もったいない。









忘れられない出会いになる旅

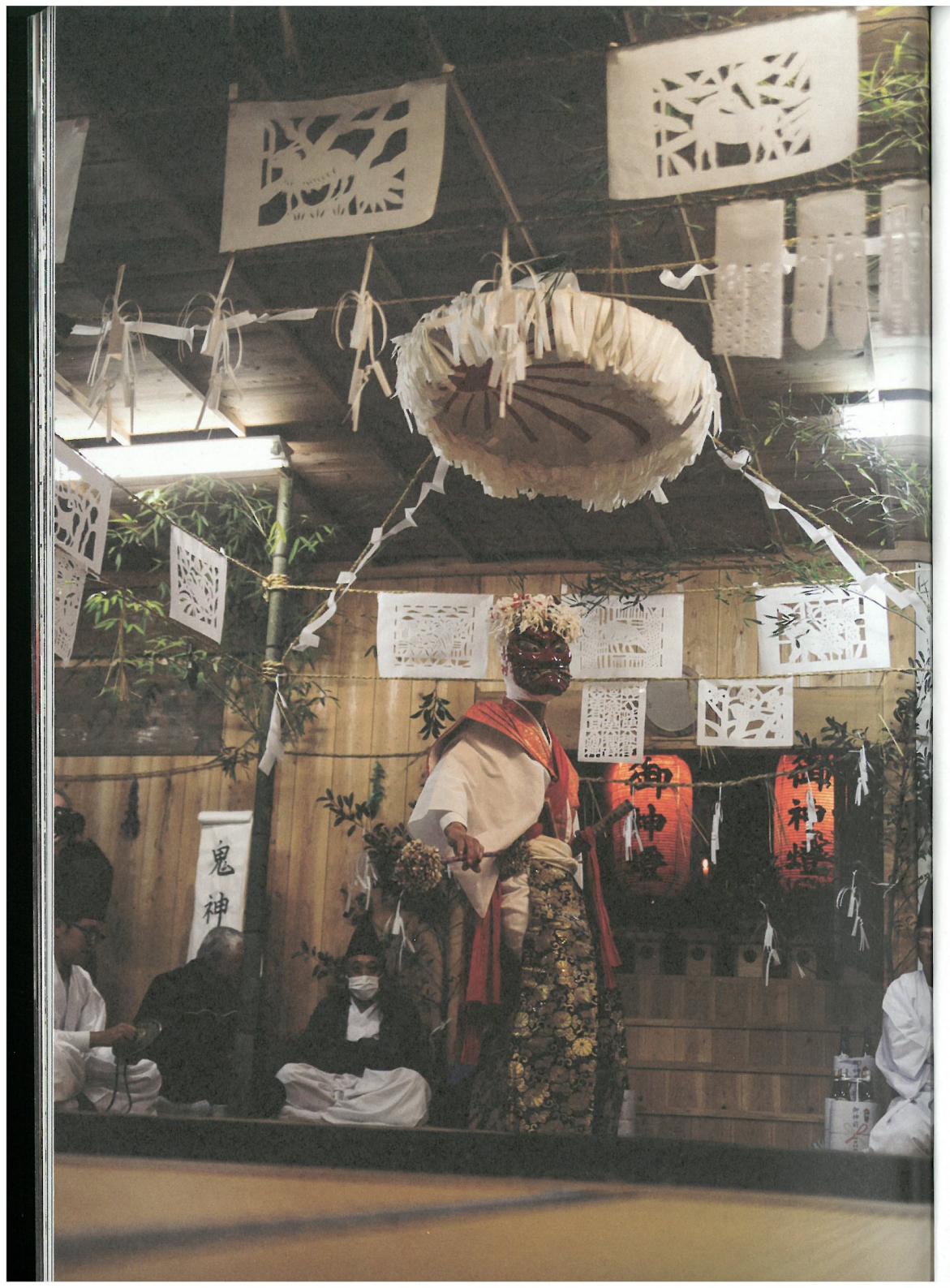


毎年11月に行われる『椎葉平家まつり』は多くの観光客と地元の人たちとのふれあいの祭り。村人が総出で伝統芸能や大和絵巻武者行列、椎葉ならではの食べ物や物産でもてなしてくれます。
おすすめは、初日の夜に行われる法楽祭(ほうらくさい)。源氏の武者に迎えられ、廉台(れんだい)に乗って来た鶴富姫と那須大八郎が松明(たいまつ)の灯りの中で出会う幻想的な祭のスタートです。法楽祭から泊まりがけで平家まつりを楽しまなければ、もったいない。広い村内のあちこちに点在する集落の美味しいものと人々が一度に椎葉銀座に集まったようなにぎやかな三日間。広い特設駐車場もシャトルバスも用意されるので安心してお越し下さい。









神楽に酔いしれて夜明けを迎える



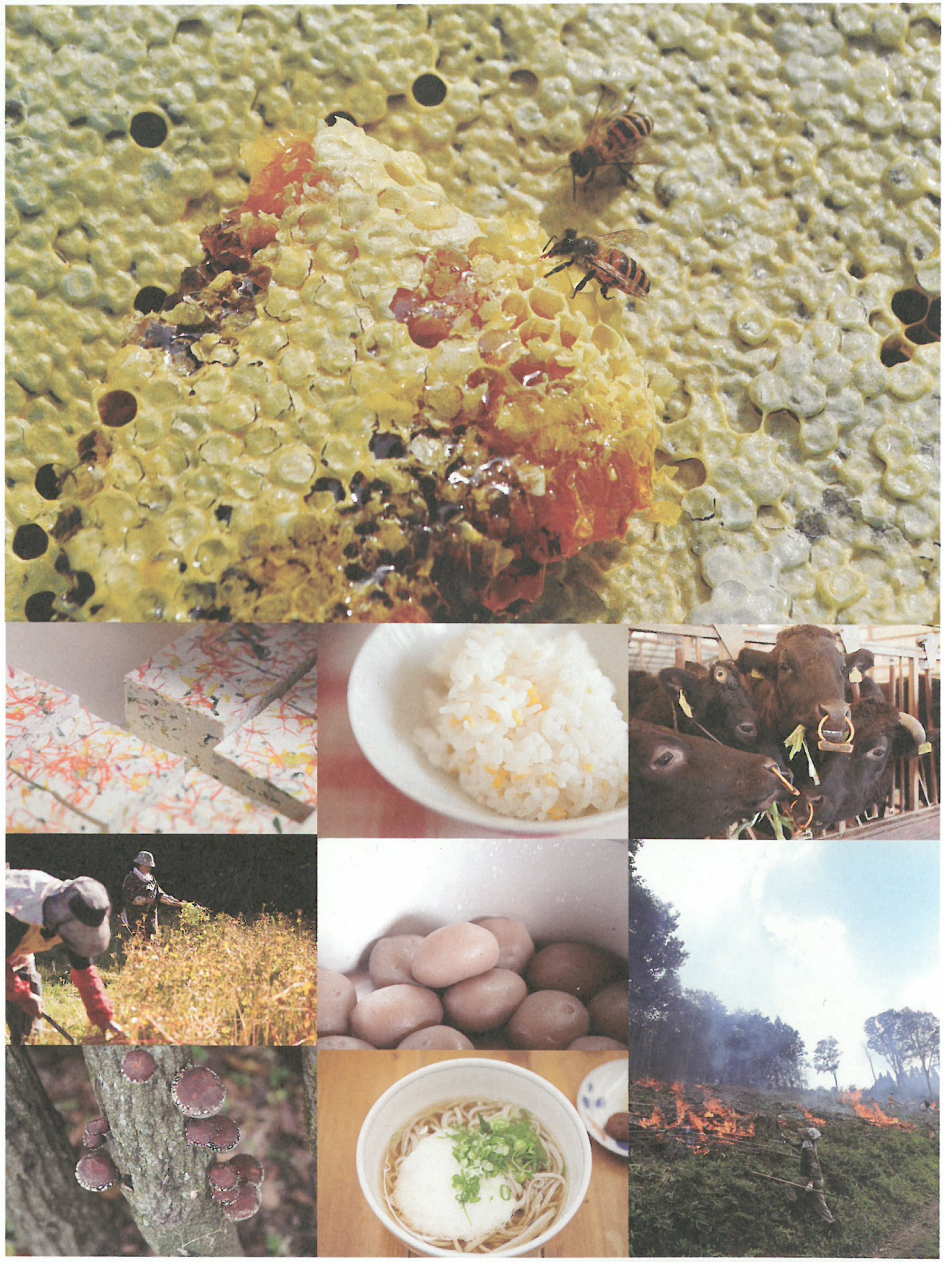
椎葉では26の地区で神楽が継承されています。毎年11月中旬から12月にかけて、神社や公民館で夜を徹して地元の人総出で神楽が舞われます。椎葉の神楽は舞手と観衆が一体となって楽しく盛り上がるのが特徴です。寒い夜に、焚火と煮しめで体を温め、笛・太鼓のリズムと村人たちの囃(はや)し立てる声に包まれて夜明けを迎えてみて下さい。
神楽の日程と場所は、観光協会のホームページで確認して下さい。





命につながる『食』に出会う旅





『のさらん福は願い申さん』と世界農業遺産

椎葉のごちそう。そば、とうきび、ヒエ、アワ、こんにゃく、菜豆腐、だんだん納豆、猪肉、はちみつ、ヤマメ、たけのこ、椎茸、ぜんまい、わらび、川苔、よもぎだんご、あくまき、梅干し、くさぎな飯、柚子胡椒・・・どれもこれも、椎葉の山で、椎葉の畑で、椎葉の川で椎葉の人が作り、集めたもの。そしてどれも命とつながっています。

2015年12月に高千穂郷・椎葉山地域が世界農業遺産に登録されました。焼畑で蕎麦やヒエ、大豆などの雑穀を作り、刈った草で牛を養い、木を切って椎茸を栽培し、また木を育てる、川で魚を獲り、山で相棒の犬とシシ(猪)を獲る。山、森、川、大いなる自然の中で村の人たちがそれを切り開いて形を変えてしまうのではなく、数年のサイクルでまた森に戻し、山を守るという循環を守り続けてきたことが評価されたのです。

椎葉には猟師たちの間で伝えられて来た『のさらん福は願い申さん』という言葉があります。「のさる」とは恵みが与えられるということで、山でシシが獲れるのは山の神からの授かりもの。だから「獲れただけ、与えられたシシだけで十分。」という意味です。『食べる』ということは、自然から与えられたもので自分の命をつなぐということで、つまり自然の命を自分の命へと置き換えていくことなのではないか？椎葉のごちそうを食べるとそんなことを感じるのです。

世界農業遺産として評価された自然と命の循環システムも同じ精神の上に成り立っているものです。遠い場所から高価な食材を運んでくるのではなく、椎葉の山の純粋な恵みを毎年少しだけ分けてもらう。少しだけ土地を貸してもらう。
『のさらん福は願い申さん』の精神は今、私たち日本人が思い出すべき、とても優しく、とても気高い考え方なのではないでしょうか。

ともあれ、たどり着くのに少し時間はかかりますが、椎葉は時間をかけてこそ楽しい村。日本三大秘境と呼ばれるほどの村ですから、そう急がずにのんびり過ごす気持ちでおいでください。
きっと新しいあなた自身を発見できるはずですよ。



宿　（事前に電話で問合せて営業日の確認・予約をしてください。）

付録地図	上椎葉地区	Tel
F-6 1	二鶴旅館	0982-67-2064
F-6 2	旅館 奥日向	0982-67-2454
F-6 3	旅館 鶴富屋敷	0982-67-2320
F-6 4	旅荘 陣屋の里	0982-67-2836
F-6 5	民宿 鈴懸	0982-67-2166
F-6 6	民宿 ひえつき荘	0982-67-2125
F-6 7	森の宿 三越	0982-67-2063
	大河内地区	
E-8 8	中竹旅館	0983-38-1112
	尾八重地区	
E-5 9	森の民宿 龍神館	0982-67-2261
E-5 10	旅館 那須	0982-67-2307
	不土野地区	
D-6 11	富どの亭	0982-67-5311
	尾向地区	
D-5 12	岩富旅館	0982-67-5956
D-5 13	民宿 今村	0982-67-5315
D-5 14	民宿 おまえ	0982-67-5959
D-5 15	民宿 又一	0982-67-5621
D-5 16	ドライブイン民宿 平家	0982-67-5657
D-5 17	民宿 紅葉屋	0982-67-5633
D-5 18	民宿 魁	0982-56-5533
C-5 19	民宿 焼畑	0982-67-5516
D-5 20	民宿 清流	0982-67-5628
	川の口集落	
D-7 21	農家民宿 上村	0982-67-2870
D-7 22	農家民宿 丹野	0982-67-2193
D-7 23	農家民宿 山柿の瀬	0982-67-2901

飲食店

付録地図	上椎葉地区	Tel
F-6 1	カフェにかく	0982-67-2064
F-6 24	正直屋	0982-67-2062
F-6 2	レストラン奥日向	0982-67-2454
F-6 7	れすとらん＆喫茶 三越	0982-67-2063
F-6 25	山中食堂	0982-67-2032
F-5 26	ドライブイン椎葉	0982-67-2223
F-6 27	平家本陣	0982-67-3140
F-6 3	鶴富屋敷	0982-67-2320
F-6 28	椎葉山の語り部	0982-67-2065
F-6 29	よこい処しいばや	0982-67-2868

みやげもの店

	上椎葉地区	
F-6 30	椎葉信雄酒店	0982-67-2023
F-6 31	椎葉マツノ酒店	0982-67-2010
F-6 3	鶴富屋敷みやげもの店	0982-67-2320
F-6 32	中園本店	0982-67-2020
F-6 28	椎葉山の語り部	0982-67-2065
F-6 33	はしもと商店	0982-67-2014
F-6 27	平家本陣	0982-67-3140
	不土野地区	
C-6 34	豆腐の盛田屋	0982-67-5570

問合せ：一般社団法人 椎葉村観光協会
〒883-1601 宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良 1822 番地 4
TEL.0982-67-3139　FAX.0982-68-7031
http://www.shiibakanko.jp/

